



様式第12号(第14条関係)

令和6年6月28日

令和5年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治

住 所 倉吉市八屋198-7  
団体名 アザレア音楽祭実行委員会  
代表者職・氏名 会長 尾坂 俊恵

令和5年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 寄附金受入額 令和5年度合計 4,000円

2 添付書類

- (1) 寄附金活用実績報告書<様式第12号の2>
- (2) 寄附金活用収支決算書<様式第12号の3>

様式第12号の2 (第14条関係)

令和5年度寄附金活用実績報告書

事業名	<p>芸術家を愛し、その恵みを共有し、共に育つ社会を目指す「アザレア音楽祭」応援サポーター。</p>
実施期間	<p>令和5年4月1日～令和6年3月31日</p>
<p>事業内容</p> <p>※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入。</p>	<p>鳥取県で活躍するクラシック音楽の優れた演奏家を集めた音楽祭の開催を通じて、県民の皆様に音楽芸術鑑賞の機会を廉価で提供するとともに、県内のクラシック音楽の演奏家及び演奏団体の活動振興を図り、演奏レベルの向上となる頂点の伸張を図ることを目的とします。</p> <p>期間：令和6年5月12日(日)～6月16日(日)</p> <p>会場：倉吉未来中心、倉吉博物館、倉吉交流プラザ、倉吉シティホテル          出演者：アザレア室内合奏団・佐々木まゆみ Sp・米澤幸 mSp・石黒信行 Vc・稲田真司 Fl・鶴崎千晴 mSp・山路みほ箏・杉山清香 Cl・新田恵理子 Pf・松田千絵 Sp・尾前加寿子 Sp・湯浅いづみ Vn・トレジェネ En・寺内智子 Sp&amp;吉田章一 Br・千熊美由貴 Re・木村恵理 Fg・久光美早紀 mSp・兒島佑亮 Br・重利和徳 Pf・小椋順二 Hr・XiksaVn&amp;Hp・山城裕子 Pf・アザレア弦楽四重奏団          ファイナルコンサート (県内合唱団8組、田内愛 MSp)</p> <p>入場料：オープニングコンサート1,000円 サロン・ファイナルコンサート700円</p> <p>アザレア音楽祭は40年に渡り、毎年5月～6月の間に約1か月半を通じて、鳥取県出身の音楽家20名以上が参加し、声楽、ピアノ、弦楽器、管楽器等の演奏をサロン形式で行います。主にクラシックコンサートを行いますが、和楽器や地元吹奏楽団の演奏、小学生による合唱、日本舞踊の発表など様々な取り組みを行っています。オープニングコンサートにはプロ演奏家で編成された「アザレア室内合奏団」によるオーケストラ演奏を行い、ファイナルコンサートには鳥取県内の合唱団が一同に会す「合唱の祭典」を行います。アザレ</p>

	<p>アの季節に音楽を通じて人々に心の安らぎを与え、優れた芸術を身近に感じる機会を提供し、地域文化の活性化に取り組んでいます。</p> <p>令和5年度寄附金は第41回アザレア音楽祭2024の運営費に充当するため積み立てることとし、繰り越しました。</p>
<p>事業実施の 成果・効果 (見込み)</p>	<p>これまでのコンサートの継承と発展に力を入れます。新しい世代も積極的に受入れ、ミニコンサートに鳥取県出身で県外大学に通う学生を招聘します。さらに新しい演奏家を取り入れ、これまでの音楽祭ファンだけでなく、新たなファンを取り込むようにいたします。</p>

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、その見込みを記載すること。

令和5年度寄附金活用収支決算書

【収入】

区 分	金額 (円)	内 訳
支援寄附金	4,000 円	令和5年度第1回交付分
収入 計	4,000 円	

【支出】

区 分	金額 (円)	内 訳
次年度繰越金	4,000	次年度へ繰越
支出 計	4,000	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。